

2022年KSTAC夏山 J隊記録（岳沢）			
メンバー L 川村 尚久、伊藤孝、瀬上伸一郎、宍戸俊雅			
行動記録			
2022年7月30日	6:35	河童橋	
天気 快晴	↓		
	7:10-7:25	たて	
	↓		
	7:55-9:10	たて	岳沢1760m付近（見晴台）
	↓		
	9:55	岳沢登山口	
氏名	感想など		
瀬上 伸一郎	<p>再開していただいた夏山幹事さんに感謝します。この2年間は病気に悩まされ、満足な外出はできなかつた。病も落ち着いたところ、今年は夏山を再開するとのことで早速参加を決めました。</p> <p>さて外出コースは体力がないので、なかなか決められなかつたが、伊藤さん・川村さんから岳沢コースを教えてもらった。てっきり岳沢小屋まで行くのかと思っていたら、もっと手前で、穂高を見る「見晴台」という良いコースあるとのこと。片道2時間程度とのこと。メンバに加えてもらいました。その後20期の宍戸さんも参加されました。</p> <p>当日は朝から天気がよく、河童橋から早速前穂、奥穂が眺望できました。少し進んで樺荘の脇からは岳沢全体がもっとよく見えました。山歩きらしく楽しんでいるうち、ザレ場につき、ここが今日の最高到達点。天気もよいのでノービングとしていただき、思う存分岳沢の景色を堪能しました。</p> <p>3年ぶりの小梨平合宿の思い出です。 （瀬上）</p>		
川村 尚久	<p>河童橋左岸集合、出発。現役の時は夜行列車で早朝上高地で朝食。下宿住まいは駅弁、自宅からおにぎりを持参の人が羨ましかったこと、白樺荘の食堂で味噌汁をご馳走になったことなど（時代は移り白樺荘の一泊は小梨平キャビン十日泊分くらいに相当するらしい）を、思い出しつつ岳沢登山口へ向かう。</p> <p>天気快晴視界良し、伊藤さん熟知のコースなので、水筒の水量だけ気をつければあとはうれいなし。20年を経ても土の香りは覚えているものです。雪があれば雪のかをり、吹雪のかをりがよみがえるのかしらと思いつつ登ると折り返し点に到着。1時間以上、吊り尾根、西穂稜線、六百山・霞沢岳、乗鞍岳、梓川など眺めていたとは、メンバー全員余裕ありでした。</p> <p>よき先輩とご一緒でき、よき山行でした。</p>		

伊藤 孝	<p>3年ぶりの小梨平の夏山ということで新鮮な思いでした。また宍戸さん、瀬上さん、川村君と一緒に登れ楽しい山行でした。宍戸さん、瀬上さんと一緒に登るのは2014年KSTAC75周年カナディアンロッキー以来です。川村君とはこのコースをいつも付き合ってもらっています。岳沢コースと言っても岳沢小屋まで行かず、途中の見晴台というところで穂高の景色を見るのですが、これが意外と迫力があり今の自分の体力には、ぴったしのコースです。初めて同行して頂いた宍戸さん、瀬上さんはもの足りなかったと思いますが、付き合っただき有難うございました。</p> <p>私がトップで登ったのですが、山岳部でまた登っているのだなと、何か昔を思い出すというか、いい感じで登れました。また見晴台ではすっきりと晴れており、今まで何十回と登った穂高の山々を、若き日の思い出と共に眺めて満足していました。</p> <p>同行の宍戸さん、瀬上さん、川村君、有難うございました。また登りましょう。</p>
------	---